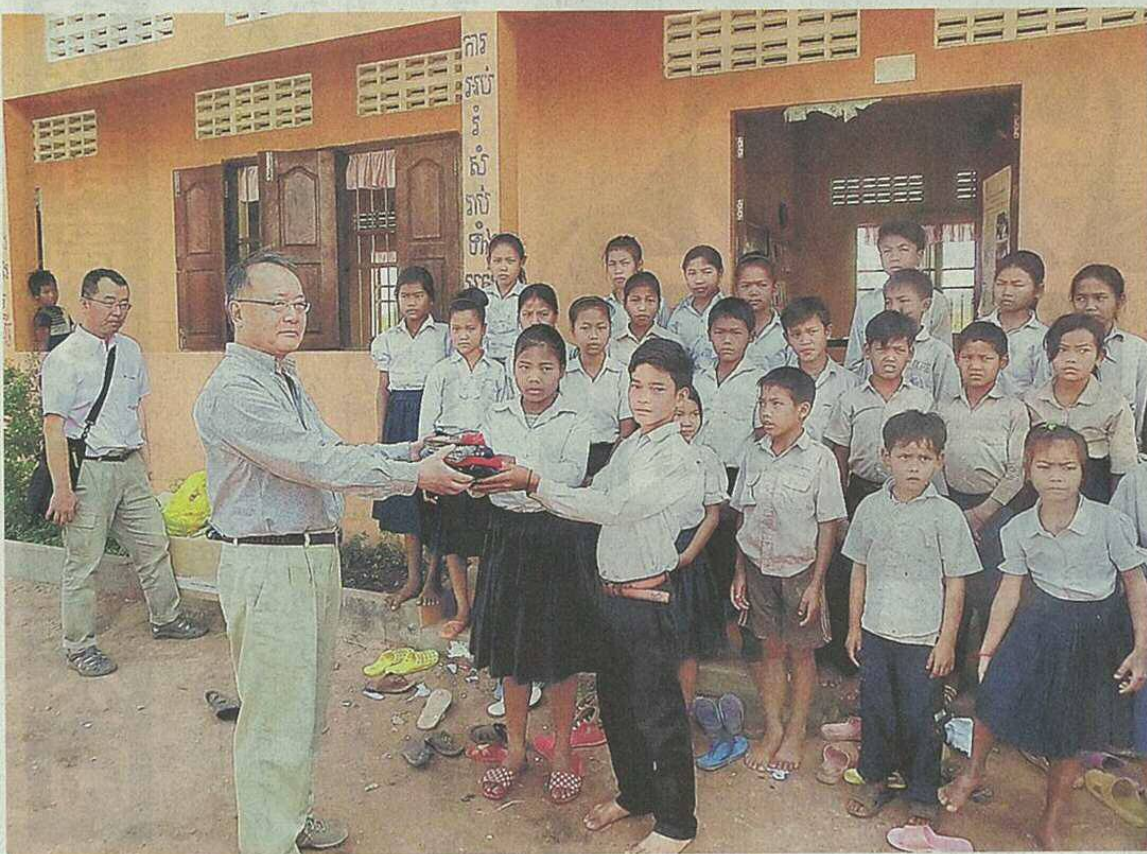


# カンボジア児童に文具

## 井上国際交流基金（大垣市）が贈る

カンボジアの過疎地の支援を続けている財団法人井上国際交流基金（大垣市万石、理事長・井上豊秋、揖斐川工業社長）が、シエムリアップ州103村の小学校に文房具や楽器を寄贈した。

（舌間隆博）



## 小学校訪れ教育環境支援

同基金は1997年設立で、国際交流活動としてカンボジアで井戸の掘削や小学校の建設を続けている。毎年、視察を通じて現地が必要とされているものを聞き、物品の提供などを行っている。

今年は、1月下旬から2月上旬に視察。井上理事長のほか、大垣市でコース指導をしている田中康司さん、妻で海津明誠高校音楽教諭の久美子さんら計4人が同行し、クナートップチエイ小学校などを訪問した。

同小学校では、大垣市で開いたチャリティーコンサートで募った善意で購入した鉛筆やノートなどの文具を提供したほか、揖斐川工業グループの従業員が寄せた子ども服、大垣市の中学校や高校などから集めたリコーダーも寄贈した。また、ペットボトルのふたを使ったカスタネット作りや、カンボジア民謡の合唱を通じて交流を深めた。

同財団は今後、同校食堂の壁の建設や手洗い場の新設などを通じて、施設の充実に協力する。

子ども服を送る井上豊秋理事長＝カンボジ

ア103村、クナートップチエイ小学校